

学校の教育目標	○ 思いやりのある子 ○ よく学び よく考える子 ○ 心も体もつよい子
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を備かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す子供像	○ 活動の目標を達成するための方法や手段などの考えをもち、全体で話し合い、協力して実践できる子 ○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○ 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる子
特別活動の重点目標	「自分の思いや願いをもって、友達と豊かにかかわり合い、主体的に活動できる篠五の子」の育成をめざし、「自分づくり」「仲間づくり」「生活づくり」の視点をもって支援・指導を行うことで、児童の自主的、実践的な態度を養う。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	○学級の集団活動に意図をもって参加することや積極的で安全な生活を送ろうとするなどの意識が育ち、そのために必要なことを理解し、共に行動する。 ○学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。 ○人間関係をよりよく構築し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	○児童会や自己の生活に意図をもって参加することや積極的で安全な生活を送ろうとするなどの意識が育ち、そのために必要なことを理解し、共に行動する。 ○児童会活動を通じて、仲間や他者と協力して課題を解決し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。 ○多様な他者と互いのよさを活かして協働し、よりよい学校生活をつくらうとする態度を養う。	○同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を広げ、活動することのよさや達成感について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けるようにする。 ○共通の興味・関心を追求する活動を楽しむ意欲を高めるための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○協力して目標を達成しようとしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりする態度を養う。	○全校または学年などの児童で協力して取り組む各学年の行事の意義を理解するとともに、活動に必要なことを理解し、各行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付ける。 ○学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見だしたりして、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができるようにする。 ○集団や社会の形成者としての自覚をもって多様な他者と尊重し合いながら協働し、公表の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養う。
指導の方針	・学級の実態、学級集団の育成上の課題や発達課題などを踏まえ、各学年段階において取り上げる指導内容の重点化を図る。 ・学級経営や児童理解の充実、いじめ未然防止を含めた生徒指導との関連を図る。	・楽しく豊かな学校生活づくりに進んで参画できるよう組織的な指導に努める。 ・異年齢集団による活動の場や機会を多く設定し充実させ、高学年のリーダーシップを育てる。 ・学校としての活力を高め、学校文化の形成を図る。	・楽しいクラブ活動づくりに進んで参画できるよう組織的な指導に努める。 ・高学年の児童が下学年の児童の思いを生かして活動することができるように配慮する。 ・家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用を工夫する。	・事前、事後の指導に十分留意し、自然体験や社会体験などの体験活動を充実させる。 ・学校行事における異年齢集団による交流を充実させる。 ・学校行事間、特別活動の各内容、各教科等などとの指導の関連を図る。
主な指導内容	(1)学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団の生活の向上<話し合い、係、当番、集会> (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流 (児童集会) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)	学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 (1) クラブの計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	○儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 ○文化的行事：平素の学習の成果を発表しその向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に親しんだりする活動を行う。 ○健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資する活動を行う。 ○遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができる活動を行う。 ○勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。
配当時間	(1) 1, 2年20、3～6年 25単位時間 (2) 1, 2年15、3～6年 10単位時間	5, 6学年 11単位時間 (各種委員会11)	9単位時間	・儀式的行事：1～4年6単位時間、5、6年12単位時間 ・文化的行事：1、2年6単位時間、3～6年10単位時間 ・健康安全・体育的行事：15単位時間 ・遠足・集団宿泊的行事：1～4年10単位時間、5、6年20単位時間 ・勤労生産・奉仕的行事：6単位時間
各教科	○各教科等の指導で身に付けた言葉や的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かすことができるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになるとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようになる。	○儀式的行事：学校や地域の行事について学習したことを基に、学校や地域の一人としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事（学習発表会）：各教科の学習の成果を発表し交流し合うことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しむ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連	低学年では、自分ややるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うことを、みんなで協力し合って楽しい学校をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うことを、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。 外国語・外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	下学年は、わがままをしないで自分のできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をする。ことを、上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。 外国語・外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもつて接すること、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。 「相手との関係を円滑にする」「事実を伝える」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校園をつくること、郷土や国を愛する心をつくることを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康と安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つ心や育むことを重視する。 外国語・外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりや考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域ののど囃子や踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用するなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に出向いて、地域のお年寄りによるチームと対戦することなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施したりするなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体との協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考			吹奏楽部については、4～6年生の希望児童により活動している。(休部中)	